

2016/02/29(月)

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努

http://www.marketedge.co.jp
info@marketedge.co.jp

【シカゴ 2016/02/26(金)】 CBOTトウモロコシ先物価格(セント/ブッシェル)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高	
2016/03	355'4	356'2	352'4	354'4	354'4	-1'0	113,427	70,946	
2016/05	360'6	361'4	357'4	359'0	359'4	-1'0	192,746	629,280	
2016/07	365'6	366'4	362'4	365'0	364'2	-1'4	42,833	285,026	
2016/09	371'4	372'0	368'4	370'4	370'0	-1'4	11,119	120,736	
2016/12	380'0	380'2	377'0	378'2	378'2	-1'4	21,059	170,988	
全体	Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM							387,720	1,339,553

【シカゴ2016/02/26(金)】 CBOT 小麦先物価格(セント/ブッシェル)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高	
2016/03	445'0	447'2	439'4	443'2	443'2	-2'0	23,168	16,572	
2016/05	455'0	456'2	449'0	454'0	452'2	-1'6	63,093	235,700	
2016/07	463'6	464'0	457'0	460'4	459'4	-2'6	27,269	117,802	
2016/09	472'2	474'2	467'2	470'2	469'6	-3'2	7,682	20,471	
2016/12	489'4	490'6	483'2	486'4	485'6	-3'6	8,669	38,449	
全体	Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM							132,358	437,277

(注) '2=0.25セント、'4=0.50セント、'6=0.75セント

【シカゴトウモロコシ概況と分析】 期近続落、展望会議の結果を嫌気

トウモロコシ相場は期近が続落した。米農務省 (USDA) が開催したアウトルック・フォーラム (展望会議) で、2016/17年度の米国産期末在庫が15/16年度を上回るとの見方が示されたことが嫌気され、売り優勢の展開になっている。

時間外取引では360~361セント水準で方向性を欠いたが、シカゴ時間に入ってから360セント割れから更に下値を試す動きが強まり、1月12日以来の安値を更新している。為替が大きくドル高方向に振れたこともネガティブであり、終日戻り売り優勢の展開になり、本日の安値圏で引けている。

アウトルック・フォーラムでは、米国産の期末在庫見通しが前年度の18.37億Buを上回る19.77億Buに達すると見方が示された。作付け採算の優位性から面積が拡大する中、需要増加圧力に対応することは十分に可能との見通しになる。在庫率も前年度の13.6%14.4%まで上昇することになり、この見通しの通りの展開がみ

られれば、トウモロコシ相場の上昇は難しい。まだ作付意向面積の発表までは1ヶ月強の時間が残されているが、当面は新穀需給見通しで安値是正を進めるのは難しい。

一方、南米産の供給にも特に目立ったトラブルなどは報告されておらず、本格的にリスクプレミアムを加算する必要は低い。引き続き、需給緩和状態・見通しを背景とした戻り売り優勢の展開を想定している。ただ、350セントの節目攻略には強い抵抗がみられる中、仮に350セントを下抜いてもそこからの大きな値崩れまでは想定しづらい。農家の採算ラインの限界を試す形で、安値横ばいからじり安の展開を想定している。

【シカゴ 2016/02/26(金)】CBOT大豆先物価格(セント/ブッシェル)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高
2016/03	860'0	862'4	854'4	855'6	855'0	-4'0	57,001	33,363
2016/05	866'4	869'0	861'6	863'2	863'4	-2'0	133,223	325,244
2016/07	872'4	875'4	868'2	870'4	870'0	-1'6	32,259	157,005
2016/08	876'2	877'4	870'4	872'6	872'4	-1'2	2,268	17,110
2016/09	875'6	877'4	871'0	873'2	873'0	-1'0	944	8,704
全体	Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM						239,540	696,646

(注)'2=0.25セント、'4=0.50セント、'6=0.75セント

【シカゴ2016/02/26(金)】CBOT大豆製品価格

大豆油	限月	帳入値	前日比	大豆ミール	限月	帳入値	前日比
	2016/03	31.03	+0.38		2016/03	257.20	-2.80
	2016/05	31.23	+0.32		2016/05	260.60	-2.10
	2016/07	31.47	+0.33		2016/07	263.30	-1.90
Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM							

(注)大豆油はセント/ポンド、大豆ミールはドル/トン

【シカゴ大豆概況と分析】 総じて続落、展望会議の結果を嫌気

大豆相場は総じて続落した。米農務省 (USDA) が開催したアウトルック・フォーラム (展望会議) で、2016/17年度にも需給緩和状態が持ち越されるとの見通しが示されたことが嫌気されている。

時間外取引では866~869セント水準での取引になったが、シカゴ時間に入ってからアウトルック・フォーラムの結果を受けて改めて戻り売り優勢の展開になり、862~864セント水準まで値位置を切り下げている。ドル高や原油安もネガティブであり、本日の安値圏で引けている。

アウトルック・フォーラムでは、米国産の期末在庫見通しが前年度の4.50億Buを下回る4.40億Buとの見通しが示された。予想されていた程に作付面積の減少が進まないことで、ほぼ前年度並みの在庫水準が想定されている。在庫率見通しも12.1%から11.4%までの小幅低下見通しに留まっている。サプライズ感は乏しいが、需給緩和状態の長期化リスクが高いことが再確認され

る中、大豆相場の上値は圧迫されている。

足元では南米産供給にも特段の障害などは報告されておらず、このまま出荷トラブルなどがなければ戻り売り優勢の展開が続く可能性が高い。過去半年にわたって続いてきた850~900セントのレンジをブレイクするには大きなエネルギーが要求されるが、作付けシーズンを迎えるまでは買い材料を想定することは難しく、同水準を下抜けするリスクも想定しておきたい。安値低迷からじり安の展開を想定している。

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

本レポートの発行者

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。東京商品取引所認定・上級知識修得者（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu